

データで見る 金沢大学 2025

KANAZAWA
UNIVERSITY



1 沿革・組織

沿革

金沢大学の起源は1862年の加賀藩彦三種痘所まで遡ることができ、160年以上の歴史があります。さまざまな前身校の歴史と伝統を引き継ぎ、1949年5月に新制大学として発足。2004年4月、国立大学法人となり、新たな一歩を踏み出しました。



組織

4学域・
20学類等

融合学域	先導学類、観光デザイン学類、スマート創成科学類
人間社会学域	人文学類、法学類、経済学類、学校教育学類、地域創造学類、国際学類
理工学域	数物科学類、物質化学類、機械工学類、フロンティア工学類 電子情報通信学類、地球社会基盤学類、生命理工学類
医薬保健学域	医学類、薬学類、医薬科学類、保健学類
国際基幹教育院総合教育部 (1年次のみ)	
新学術創成研究科	
人間社会環境研究科	
自然科学研究科	
医薬保健学総合研究科	
先進予防医学研究科	
法学研究科	
教職実践研究科	

大学院
7研究科

7研究所

がん進展制御研究所／ナノ生命科学研究所／ナノマテリアル研究所／設計製造技術研究所／高度モビリティ研究所／古代文明・文化資源学研究所／先端観光科学研究所

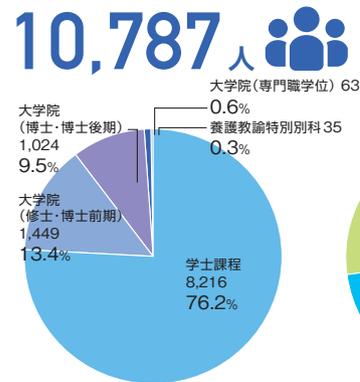
その他

4研究域、附属病院、研究域附属センター、学内共同教育研究施設 ほか

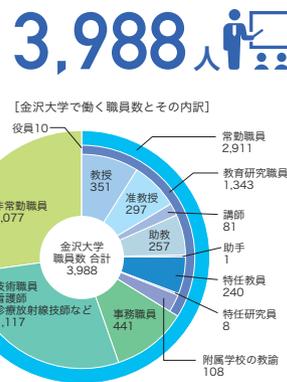
2 基礎データ

学生数、教職員数

学生数



教職員数



面積

土地面積

約241万㎡

角間キャンパス 約201万㎡
宝町・鶴間キャンパス 約15万㎡
その他 約25万㎡



校舎・講堂・体育施設の敷地面積

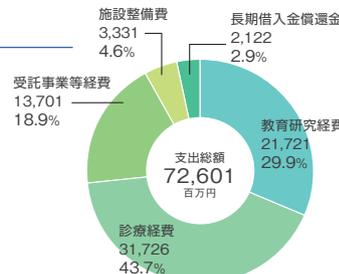
全国2位 (国立大学) 約191万㎡

予算

総額

72,601 (2025) 百万円

金沢市の一般会計予算額の約35%の予算規模



3 教育

金沢大学の特色ある学びの枠組み

4学域・20学類において、一人一人の成長をかなえる学びの環境を実現しています。また、全ての学類と接続する大学院（研究科）を整備しており、より高度な研究・教育を通して、世界の学術発展に寄与できる人材を養成します。

●学域学類制

旧来の学部・学科の垣根を超え、異なる学問分野が融合した学域学類制により、境界領域を含んだ広い分野の学問の履修が可能です。

●経過選択制

基礎を学びながら、ゆっくりと、じっくりと自分のテーマを選んでいくことができます。



●主専攻・副専攻制

「主専攻」に加えて興味関心のある「副専攻」を、一人一人が主体的に選び、自分の学びを広げ、深めていきます。学際的、横断的な学びで、視野が広がりが柔軟な発想力や応用力が鍛えられます。



金沢大学〈グローバル〉スタンダード (KUGS)



KUGS：金沢大学が育成する人材の具体的な姿

学士課程：

6つのスタンダード

1. 自己の立ち位置を知る
2. 自己を知り、自己を鍛える
3. 考え・価値観を表現する
4. 世界とつながる
5. 未来の課題に取り組む
6. 新しい社会を生きる

大学院課程：

4つのスタンダード

1. グローバルマインドと明確な倫理的思考
2. 交渉力・統率力・実践力
3. 多様な「知」を融合し、新たな価値を創出する総合知
4. トランスファラブルスキル

学域・学类等、研究科学生数

10,000人を超える学生が在籍しています。
うち女子学生は4,116人(38.2%)です。

[学域等別学生数]

単位：人

学域・学类等	学生数	研究科	学生数
[融合学域] 先導学類、観光デザイン学類、 スマート創成科学類	572 (237/41.4%)	[大学院修士・ 博士前期課程] 新学術創成研究科、人間社会 環境研究科、自然科学研究科、 医薬保健学総合研究科、法学 研究科(法学・政治学専攻)	1,449 (372/25.7%)
[人間社会学域] 人文学類、法学類、経済学類、 学校教育学類、 地域創造学類、国際学類	2,898 (1,584/54.7%)	[大学院博士・ 博士後期課程] 新学術創成研究科、人間社会 環境研究科、自然科学研究 科、医薬保健学総合研究 科、先進予防医学研究科	1,024 (311/30.4%)
[理工学域] 数物科学類、物質化学類、 機械工学類、 フロンティア工学類、 電子情報通信学類、 地球社会基盤学類、 生命理工学類	2,656 (457/17.2%)	[専門職学位課程] 法学研究科(法務専攻)、 教職実践研究科	63 (24/38.1%)
[医薬保健学域] 医学類、薬学類、医薬科学類、 保健学類	1,942 (1,045/53.8%)	計	2,536 (707/27.9%)
国際基幹教育院 総合教育部	148 (51/34.5%)	別科	学生数
計	8,216 (3,374/41.1%)	養護教諭特別別科	35 (35/100%)

合計 10,787 (4,116/38.2%)

()内の数値は女子学生の人数および割合です。

附属学校園幼児・児童・生徒数

[附属学校園在籍者数]

単位：人

学校名	在籍者数	学校名	在籍者数
幼稚園	72 (35/48.6%)	高等学校	358 (178/49.7%)
小学校	580 (288/49.7%)	特別支援学校	58 (27/46.6%)
中学校	476 (239/50.2%)		
合計			1,544 (767/49.7%)

()内の数値は女子児童・生徒の人数および割合です。

4 入学・キャリア支援

入学状況

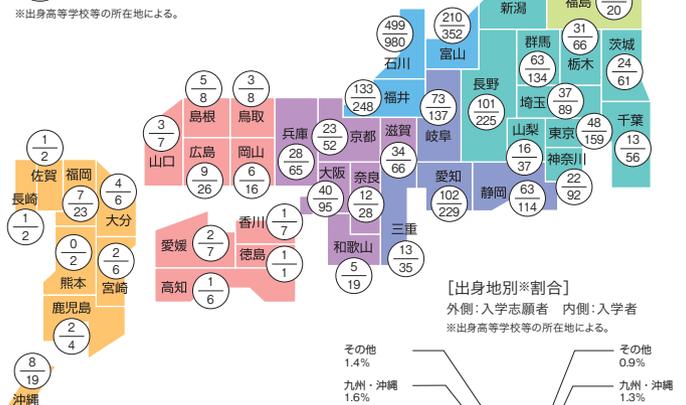
一般選抜(前期日程)のほか、能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価するKUGS特別入試や特異な才能を評価する超然特別入試など多様な入試制度を導入しています。これにより、金沢大学は、さまざまな個性を持つ学生の特性を尊重し、それぞれの資質や能力を十分発揮できるダイバーシティ(多様性)環境および共生社会の実現を目指します。

2025年度実績

全体数	入学者	1,900人
	入学志願者	3,993人

[都道府県別※入学者数]

$\frac{B}{A}$ B=上段は入学者数
A=下段は入学志願者数
※出身高等学校等の所在地による。



高等学校卒業程度認定試験等合格者	3
外国の学校等	14
その他(専修学校の高等課程等)	0

進路状況等

就職決定率

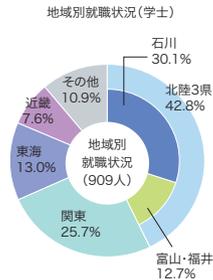
学士課程

97.6%

大学院課程※

97.9%

※:満期退学者は含まず



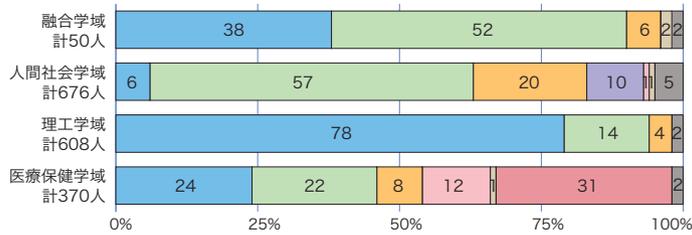
2024年度実績



大学院進学率
(理工学域)

78.0%

【学域別進路状況】



医療系資格合格率(新卒)

医師、保健師、助産師、
診療放射線技師、臨床検査技師、公認心理師



100%

新・就職力ランキング 採用を増やしたい 大学ランキング



出展:日経キャリアマガジン特別編集「価値ある
大学 就職力ランキング 2025-2026」

2025年6月11日付日本経済新聞朝刊に掲載された、「採用を増やしたい大学ランキング」(※)で、金沢大学が全国1位にランクされました。留学生との交流で培われた語学力や、博士人材の育成支援プロジェクト「HaKaSe」などが注目され、評価につながったようです。本ランキングは、企業が新卒社員として採用実績のある大学の「卒業生の資質・姿勢」「大学の取り組み」を評価した結果から作成されています。

※日本経済新聞社・日経HR共同調査「企業人事に聞いた「卒業生が活躍している大学」調査」

ランキングについての
詳細はこちら ⇒



5 研究

科研費

日本の学術振興のため優れた研究を支援する「科研費」。
2024年度の教員一人当たり採択件数は国立大学2位*であり、全国でもトップレベルの採択水準となっています。*大学院大学を除く

採択件数
(新規+継続)
919件
(2024年度)

国立大学
教員一人当たり
2位

受入金額
(新規+継続)
2,373百万円
(2024年度)

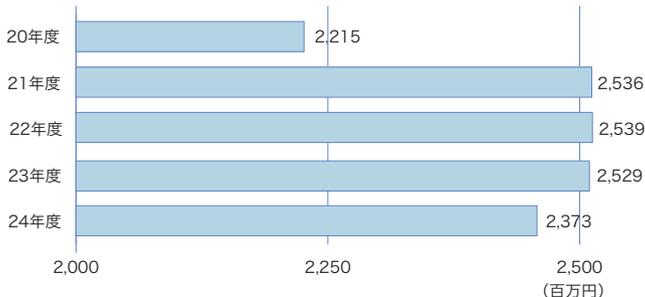
10年間で
13.0%
増加

2024年度科研費 教員一人当たり採択件数ランキング

順位	国立大学名	教員一人当たり採択件数	採択件数 (新規+継続)
1	東京大学	1.00	3,965
2	金沢大学	0.92	919
3	熊本大学	0.86	695
4	京都大学	0.83	2,903
5	九州大学	0.77	1,892

○文部科学省「令和6年度科学研究費助成事業の配分について」(2024.12公表)を基に作成。
○大学改革支援・学位授与機構「大学基本情報」を基に作成。
*研究代表者の所属する大学等により整理している。

【科研費受入金額(新規+継続)の推移】



■金沢大学では、先端科学・社会共創推進機構(FSSI)が中心となり、申請書類作成のための説明会や研究費支援など、さまざまな方策を実施することにより、科研費の一層の獲得増を目指しています。

Nature Index 2025 Research Leaders ランキング

「Nature」を発行するシュプリンガー・ネイチャーによる国内大学ランキングでは、金沢大学の研究は世界的に高い評価を得ています。

Research
Leaders 2025



Kanazawa University
nature index

総合
全国 **13**位*

Earth & environmental
sciences 分野

全国 **12**位*

Physical
sciences 分野
全国 **13**位*

Chemistry 分野

全国 **14**位*

*国立大学における順位

学術論文

学術論文数

13,258件
(2015.1-2025.2)



約3割が国際共著

140カ国以上

の研究者と共同で
研究をしています。

学術論文被引用数

210,504件
(2015.1-2025.2)



○クラリベイト社「Essential Science Indicators」データベースを基に作成。

世界で最も影響力のある科学者**トップ2%**に選出

36人

○米国スタンフォード大学・エルゼビア社作成「標準化された引用指標に基づく科学者データベース」(2024.9.17公開)に基づく。
*2023年の被引用回数に基づく。
*2025年4月1日現在で金沢大学に在籍している教員を対象としてカウント。



詳細はこちら↑

数字から見る金沢大学の最新研究



研究成果によって実現したい
未来社会を描いた
18のショーケース
未来知実証センターで展示

未来知実証
センター
Webサイト>



6 社会共創

産学官連携

外部資金

研究成果の社会実装を目指して、共同研究や受託研究など外部資金の受け入れを積極的に推進しています。

外部資金受入額の推移(各年度実績)



発明届出・特許出願

発明届出件数
(2024年度)

103件

特許出願件数
(2024年度)

71件

特許権実施等収入の推移(各年度実績)



社会連携

連携協定
15自治体

石川県および富山県の
各市町自治体

- ①石川県
- ②金沢市
- ③七尾市
- ④小松市
- ⑤輪島市
- ⑥珠洲市
- ⑦加賀市
- ⑧羽咋市
- ⑨白山市
- ⑩能美市
- ⑪志賀町
- ⑫中能登町
- ⑬穴水町
- ⑭能登町
- ⑮富山県南砺市



地域との連携

■能登里山里海未来創造センター

令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて2024年1月に設置したセンターです。地域・自治体・企業との協調・共創と、文理医融合による「オール金沢大学」の体制で、能登地域の創造的発展に貢献していきます。

ボランティア派遣

のべ2,215名

(2024年1月~2025年8月末)
※金沢市等での活動含む



■能登里山里海SDGs マイスタープログラム

世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」など能登の豊かな地域資源を正しく評価し、能登の活性化を担う人材を育成します。多様な職種の人々との共創により、新たなビジネス創出と持続可能な地域づくりにつなげていきます。

マイスター輩出

262名

(2007年~)



■北陸未来共創フォーラム

北陸地区の国立4大学と、北陸の多様な企業・諸団体・行政機関等とが協業する産学官金プラットフォームです。イベント開催やテーマ別の分科会を通し、オール北陸で新産業創出や人材育成に取り組み、北陸の未来を創ります。

登録会員数

260会員



新しい発見、新しい結合、新しい価値。

北陸未来共創フォーラム

産学官金プラットフォーム for innovation creation

■Project:AERU

いろいろな人に「会える」、個性や強みを「和える」、みんなで学び「合える」の3つをコンセプトとした、地域参加型の課外活動プログラムです。学生が企業、自治体や地域の方と連携して、地域の魅力発信や課題解決に取り組みます。

参加学生

のべ943名

(2021年4月~)

出会う、つながる、学びあう。

Project:AERU

7 国際交流

交流協定機関数

348 機関

(64カ国1地域)

大学間交流協定校244機関
(61カ国1地域)、
部局間交流協定校104機関
(31カ国1地域)



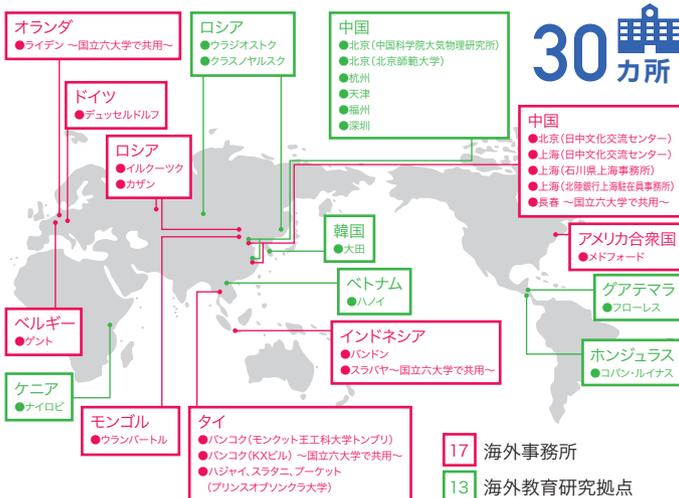
間断しない成長と地球規模の課題解決を実現する国際教育研究拠点を目指し、世界トップレベルの大学との連携を強力に推進しています。

大学間／部局間国際交流協定 機関分布

	アジア	中東	オセアニア	アフリカ	ヨーロッパ	北アメリカ	中南アメリカ	国際機関
大学間国際交流協定 244 機関 (61カ国1地域)	142	8	6	6	58	13	11	0
部局間国際交流協定 104 機関 (31カ国1地域)	65	1	3	3	27	4	-	1
総計 348 機関 (64カ国1地域)	207	9	9	9	85	17	11	1

海外リエゾンオフィス

現地での学生募集、広報活動などを目的とした「海外事務所」と、本学教員の研究活動、学生の海外研修プログラムなどで利用される「海外教育研究拠点」があります。



留学

海外派遣学生数

409人

(2024年度実績)



外国人留学生数

1,119人

(2024年度累計実績)



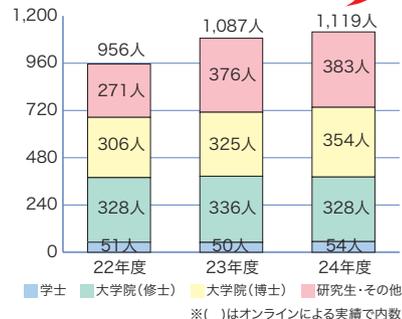
海外派遣可能な
国・地域の数

55カ国1地域

(2025年5月1日現在)

世界の259校と学生交流の覚書を結んでおり、幅広い国・地域の中から留学先を選ぶことができます。

【外国人留学生受入状況の推移(各年度実績)】



大学独自の留学支援制度

3部門9制度

JASSO (日本学生支援機構) 海外留学支援制度の地域区分に応じた額を受給できるスタディアブロード奨学金(派遣枠)をはじめ、基金を活用した本学独自の奨学金制度が充実しています。



学生留学生宿舍「先魁」「北溟」

日本人学生と外国人留学生が一つのユニット(男女別)で共同生活するシェアハウスタイプの宿舍で、キャンパスの国際日常化を推進します。



8 附属病院／附属図書館・資料館

附属病院

附属病院は、36の診療科の下、北陸の地域医療に貢献しています。
また、特定機能病院として、高度の医療を提供しています。

病床数

830床



外来患者数(1日平均)

1,517人

(2024年度実績)



入院患者数(1日平均)

628人



(2024年度実績)



附属図書館

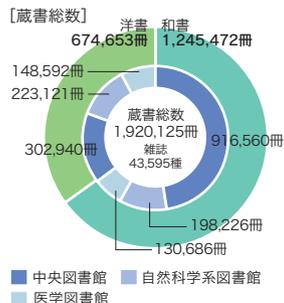
附属図書館は、中央図書館(角間キャンパス北地区)、自然科学系図書館(角間キャンパス南地区)および医学図書館(宝町・鶴間キャンパス)の3館で構成されています。

蔵書数

192万冊



電子ジャーナル
10,735タイトル



資料館

資料数

約89,000点

金沢大学に関する資料を収蔵・展示・閲覧等に供している施設です。なお、当資料館は博物館法に定める「指定施設」です。

キャンパス位置図

金沢市内





発行／金沢大学広報戦略室

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL.076-264-5024 FAX.076-234-4015

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/>

※このリーフレットの掲載内容および最新ニュースなどについては、金沢大学Webサイトでもご覧いただけます。

※データは特別な記載がある場合を除き、2025年5月1日現在のものです。



2025.9